

## 「平成24年度 北九州港物流勉強会」の開催について（報告）

北九州港航路集貨対策委員会※では、北九州港の利用を検討している荷主企業に対し、国際物流に関するセミナーや港湾施設等の見学を内容とする勉強会を例年開催しています。

今年度も、輸送事業者や地元港運事業者等のご協力を得て、コンテナターミナルの見学や輸出入業務等の勉強会を実施しました。

※北九州港航路集貨対策委員会は、官民が一体となって航路・集貨の誘致促進を図り、物流拠点としての北九州港の地位向上に寄与することを目的に、平成15年に組織されたものです。

1 日 時 平成24年10月11日（木） 10：30～16：00

2 場 所 午前・・・ステーションホテル小倉  
午後・・・門司地区、響灘地区

3 参加人数 71名（44社）

【構成】◆所在地別・・・北九州市内：36名 福岡県内：10名 山口県：11名

大分県：4名 広島県、東京都：各3名

長崎県：2名 宮崎県、愛知県：各1名

◆業種別・・・化学：20名 窯業：9名 電気機器：8名 機械：5名

鉄鋼：5名 食品：4名 小売：4名 工業製品：4名

リサイクル：4名 産業機械：3名 自動車：3名 ゴム製品：2名

4 主 催 北九州港航路集貨対策委員会（共催 （一社）北九州港振興協会）

5 実施内容

【国際物流セミナー】（10：30～13：00）

◆基調講演

講師：九州国際大学 経済学部教授 <sup>おざわともはる</sup> 男澤智治氏

題目：わが国コンテナ港湾の方向性と北九州港

◆貿易実務セミナー

講師：(株)ジェネック 北九州営業チーム <sup>はまききゆういち</sup> 濱崎雄一氏

題目：輸出入実務について

◆交流会

北九州港航路集貨対策委員会幹事企業による参加者との意見交換会

【港湾施設等視察】（13：00～16：00）

太刀浦コース、ひびきコースに分かれて視察

**(午前：セミナー風景)**



会場内の様子



男澤教授 講義



(株)ジェネック 講義



交流会

男澤教授の講演では、港湾施設に求められる要素が多様化する中で、ハード面のみならず背後地との連携・アクセスを強化した、新しい日本型ロジスティクス港湾の構築に向けた提言がなされました。

(株)ジェネック・濱崎氏の実務セミナーでは、詳細な資料に基づき、輸出入における貨物・代金・書類の流れについて解説がありました。

昼食をはさんでの交流会では、和やかな雰囲気の中、名刺交換が活発に行なわれました。

**(午後：視察風景)**

**【太刀浦コース：太刀浦コンテナターミナル、新門司フェリーターミナルの見学】**

太刀浦コンテナターミナルでは、関門コンテナターミナル(株)・浜田欣一郎所長より、航路・貨物動向や荷役体制などについて説明が行なわれました。

新門司フェリーターミナルでは、二班に分かれて阪九フェリー(株)及びオーシャントランス(株)を訪問。フェリー輸送の説明を受けるとともに、シャーンシの船内積み付けの様子を見学しました。

(新門司F T対応者)

※阪九フェリー…嶋井五雄貨物営業部長、林田勝則貨物課長

※オーシャントランス…魚住大樹営業企画部長、鵜池毅営業企画課長



太刀浦CT管理棟 展望室



車両甲板入口から  
(オーシャントランス(株))



シャーシ積み付けの様子  
(オーシャントランス株)



船内での説明  
(阪九フェリー株)

### 【ひびきコース：JR 貨物北九州貨物ターミナル駅、ひびきコンテナターミナルの見学】

JR 貨物 北九州貨物ターミナル駅では、末廣公良駅長より駅の概要や荷役作業についての説明を受けた後、バスで駅構内を回り、実際の作業を見学しました。

ひびきコンテナターミナルでは、北九州市港湾空港局の伊藤淳一職員から、同ターミナルにおける航路・貨物動向や背後地における企業進出動向などについて説明がありました。



駅長によるバス車内での解説  
(JR 貨物株)



駅構内での荷役風景  
(JR 貨物株)



ひびきCT 屋上